

令和 4 年 6 月 15 日

駿台明剣会会報

ご挨拶

駿台明剣会会長

大森 道明（昭和 48 年卒）

新年度を迎え一言ご挨拶申し上げます。

二年前からのコロナ感染拡大の影響により、全ての社会生活や人々の活動が制限を受け今日に至っております。

剣道界においても感染予防の諸々対策がなされています。試合は無観客での開催が常となり、ご自宅等でオンライン観戦での応援をされた先輩も多々いらっしゃったと思います。

この間明剣会も常任理事会、総会等書面決裁を先輩方に仰ぎ、非常にご不便をお掛け致しましたが、温かいご理解を賜りました事に感謝申し上げます。本年度総会是对面での開催を七月に予定しております。その際にご説明させて戴きますが近年年会費の納入率が非常に低く、如何にして増やしていくかが喫緊の課題となっております。

この処スポーツ界では様々な不祥事が報道され、特に運動部の環境は大変厳しく体育会卒業生の一員として非常に憂慮しております。明治大学では体育会規約で『正課外教育活動の一環』と位置づけ、正常な部活動を推進しております。このような中で明剣会は卒業生の親睦団体として一致団結し、心を一つにして物心両面で母校剣道部を支援して行きたいと考えております。重ねてのお願いではございますが、同期及び卒業年次の近い先輩方へお声掛け戴きます様お願い申し上げます。

本年度は七月の全日本個人戦へ男子二名、女子一名が出場致します。松本監督より優勝目指し部員一同稽古に励んでいるとの事です。又、定期戦は六月に立教当番校で明立戦、八月には我々母校当番で明日中定期戦が開催される予定で現在準備を進めております。秋の明法戦は法政当番校で現在未定となっております。

コロナ感染拡大で日々の生活が様々な制限を受けてきた中で、先輩方に於かれましてもご家庭、職場等に於いて、非常に厳しい時を過ごされてこられたと拝察致します。朝の来ない夜は無いと言われる様に、明るい未来に向かって先輩方と一緒に前へ進める日が一日も早く来ることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

以上